

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

課題名 Balanced SSFP シーケンスを用いた椎骨解離性動脈瘤における臨床応用の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2020年6月～2021年4月に昭和大学病院で椎骨解離性動脈瘤の疑いのためMRI検査を受けられた方

2. 研究目的・方法

椎骨解離性動脈瘤は椎骨動脈での発生率が多く、くも膜下出血や脳梗塞の危険性があります。MRIにおいて質的画像診断が可能であれば解離タイプおよび出血リスクを把握し、くも膜下出血や脳梗塞の危険性が回避でき、治療に有効となります。撮像シーケンスには、従来より撮像されている2D撮像のBPAS-MRIと新しい撮像法として3D撮像のbalanced SSFP シーケンスの1つである3D FIESTAがあります。今回、椎骨解離性動脈瘤の症例において撮像されたBPAS-MRIと3D FIESTAの画像を比較し、3D-FIESTAの臨床的有用性を検討します。

研究方法は、MRI検査歴10年の診療放射線技師5名により、3段階評価でBPAS-MRIと3D FIESTAの椎骨解離性動脈瘤の描出能を視覚評価します。対象は、椎骨解離性動脈瘤の症例でBPAS-MRIと3D FIESTAが撮像された方、10名を対象とさせていただきます。

研究期間

医学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会承認後、昭和大学病院長の研究実施許可を得てから2022年3月31日まで

用語説明

※1 BPAS-MRI：血管の形状を1枚の画像として捉える方法です。

※2 Balanced SSFP シーケンス：BPASと同じ見た目の画像を3D撮像で高分解能かつ短時間で撮影する方法です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：MRIの各画像データ、患者情報（年齢、性別、身長、体重、治療方法）

試料：頭部MRI画像（BPAS-MRIと3D FIESTA）

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院 放射線技術部

研究責任者氏名：布施 智也

住所：142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号：03-3784-8741